

宮崎科学技術館
個別施設計画

令和6年5月
教育委員会 生涯学習課

宮崎科学技術館 個別施設計画

目次

第1章	計画の背景と目的	1
第2章	概要	
	(1) 対象施設の概要	1
	(2) 対象施設の経緯	1
	(3) 計画期間	1
	(4) 位置図	2
	(5) 施設写真	3
第3章	個別施設の状態等	
	(1) 対策の優先順位の考え方	3
	(2) 個別施設の状態	4
	(3) 施設の劣化状況写真	5
第4章	対策の内容等	
	(1) 対策の考え方	6
	(2) 対策の平準化について	6
	(3) 対策の内容等	6

第1章 計画の背景と目的

本市では、持続可能かつ最適な公共施設経営の実現を目指し、「総量の最適化」「質の向上」「投資の厳選」を経営方針とする「宮崎市公共施設等総合管理計画」を平成29年2月に策定したところです。今後は、この計画に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、「個別施設計画」を策定することとなっております。

「個別施設計画」については、各施設の特性や維持管理・更新等に係る取り組み状況等を踏まえつつ、長期的な視点をもって、長寿命化・建替え・複合化などを計画的に行い、最適な公共施設サービスを提供することにより、持続可能な行政運営の実現を図ることを目的に策定します。

第2章 概要

(1) 対象施設の概要

対象施設	宮崎科学技術館		
所在地	宮崎市宮崎駅東1丁目2番地2		
竣工年度	昭和62年度	所管課	生涯学習課
敷地面積 (㎡)	5,400.00	延床面積 (㎡)	6,419.30
主構造	鉄筋コンクリート	階数	地上3階(一部4階)

(2) 対象施設の経緯

年度	建物	構造	床面積
昭和62年度	宮崎科学技術館	鉄筋コンクリート	6,419.30 ㎡

- ・宮崎科学技術館は、昭和62年8月1日に、市制60周年記念事業として「科学と遊ぶ」をテーマに建設され、数多くのユニークな展示物や世界最大級のプラネタリウムドームを有している。
- ・平成16年5月1日にはリニューアルオープンし、アポロ11号月面着陸船実物大模型や新しい恒星投映機などが導入されるなど、子どもからお年寄りまで楽しみながら科学を学べる施設となっている。

(3) 計画期間

本計画の計画期間は「宮崎市公共施設等総合管理計画」の計画期間に合わせて2024年度(令和6年度)から2027年度(令和9年度)までの4年間とします。

なお、社会情勢の変化や関連する計画の策定・改訂など、本計画に大きな影響を与える事情が発生した場合は、適宜見直しを行います。

(4) 位置図

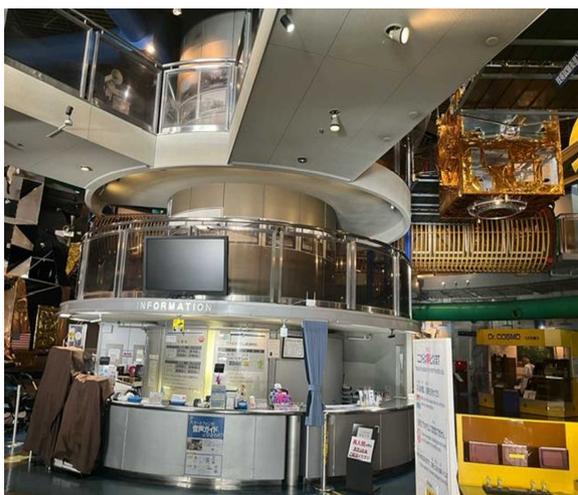


(5) 施設写真

施設外観



内観・プラネタリウム



第3章 個別施設の状態等

(1) 対策の優先順位の考え方

当該施設の方針として、鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄筋コンクリート造であることから目標耐用年数 80 年(日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」とし、計画的な修繕により、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を図ります。

現在、老朽化状況に応じて随時必要な修繕を実施しているところであり、今後も定期的な点検等を通して状況を把握し、機能及び利用者の安全を確保するために直接的な人的被害につながる可能性がある箇所(屋根・外壁)について優先して対策を行うほか、運営に影響を及ぼす設備(空調・給湯・電気・機械)についても必要な範囲で予防保全改修を実施します。

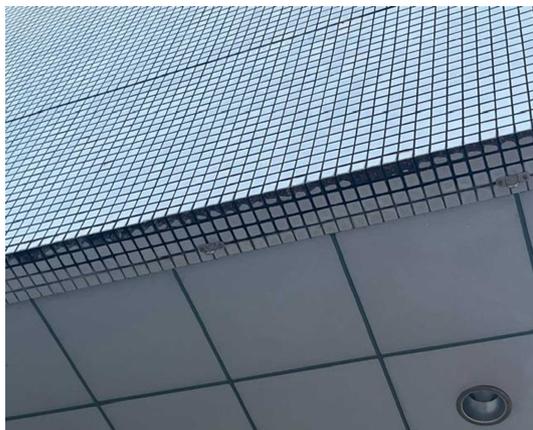
【長寿命化方針】目標耐用年数 80 年

改修時期として、築年数 20 年・40 年・60 年経過を目途に、施設状況を確認の上、大規模改修や長寿命化改修を検討します。

(2) 個別施設の状態

調査部位	種類・形式等	定期点検の判定項目	定期点検の判定結果
敷地及び地盤	敷地	敷地内の排水状況	・特に問題なし
	空地、通路等	空地、通路等の管理は適切か	・犬走り及び踏段の床タイルにひび割れ及び浮き
建築物の外部	基礎	基礎の劣化及び損傷状況	・特に問題なし
	躯体等	コンクリート造の外壁の躯体の劣化及び損傷状況	・特に問題なし
	外装仕上材等	外壁タイル等の劣化及び損傷状況	・外壁タイルにひび割れ及び浮き ・シーリング材の劣化
	窓サッシ等	サッシ等の劣化及び損傷状況	・窓枠の腐食 ・出入口冊サッシの腐食及びシーリング材の損傷 ・出入口サッシからの雨漏り
	外壁に緊結された空調室外機等	機器本体及び支持部分等の劣化及び損傷状況	・空調室外機の腐食
屋上及び屋根	屋上周り	笠木等の劣化及び損傷の状況	・爆裂が見られる
		露出防水層及び排水溝の劣化及び損傷状況	・防水層の浮き、損傷及び破断 ・ドレーンのストレーナーがない
建築物の内部	壁・床・天井	壁の室内に面する部分や床、天井の劣化及び損傷状況	・ロビーの床タイル、便所壁タイルにひび割れ及び浮き ・事務室のドアノブが通行に邪魔になるため外されている。 ・天井及び壁、ガラスブロックからの雨漏り
その他	機械室	換気ルーバー等の状況	・開閉が困難

(3) 施設の劣化状況写真



軒下の状況



外壁の状況①



外壁の状況②



雨漏りの状況



鋼製重量ドアの状況



シーリング材の状況

第4章 対策の内容等

(1) 対策の考え方

当該施設は、築36年経過しており、令和4年度の定期点検によると外壁のタイルの浮きや鋼製建具の発錆など施設の老朽化が見られる状況です。

計画期間内においては、軽微な修繕に加え、令和3年度から令和9年度にかけて、外壁及び施設運営に係る設備について予防保全を実施する予定としています。

なお、今後の施設方針については、適宜、施設評価によって判断していくこととなります。

(2) 対策の平準化について

優先順位を選定の上、施設の役割・機能・利用状況を考慮しつつ、費用や事務負担軽減等を図る観点から平準化を行い、改修や修繕が必要な箇所については、計画に沿って実施していきます。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の実施時期の予定は下表のとおりとなりますが、進捗状況により計画の見直しを行います。

施設名	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
宮崎科学技術館		維持管理修繕		
	外壁改修 工事		空調設備更新工事・特定天井更新工事 消火設備更新工事	非常用発電設備更新工事
定期点検		○		
維持管理修繕 (千円)	900	900	900	900
予防保全改修 (千円)	115,830	0	487,965	419,665

※改修の時期・規模については、現時点の予定であり、毎年の予算編成の中で検討します。

※事業費は概算値であり、実際の事業費とは異なります。また、施設の今後の方向性によっては、事業費が変動する可能性があります。